

会 議 録

会議名	平成29年度 第1回文化によるまちづくり推進委員会
開催日時	平成30年2月8日(木) 18時30分～20時00分
開催場所	市役所3階 第2委員会室
出席委員 (10名)	齋藤 大二郎、岡本 紘子、縄手 秀樹、吉水 多加志、 林 絹江、千々松 武博、中戸 千恵、富田 輝美、 湯城 明彦、田村 洋
欠席委員 (4名)	比嘉 朝康、廣田 由実、長岡 武寛、塩田 賢二
傍聴者	なし
担当課及び 出席者	文化・スポーツ振興部：姫井部長 文化振興課：西田課長、渡辺課長補佐 文化・スポーツ政策室：船林室長
会議次第	1. 辞令交付 2. 委員長あいさつ 3. 議事 (1) 文化振興事業について (2) 第7回現代ガラス展について 4. その他
委員長 事務局	1. 辞令交付 2. 委員長あいさつ 3. 議事 (1) 文化振興事業について、事務局から説明 (2) 第7回現代ガラス展について、事務局から説明
委員	向峠神楽とは。
事務局	岩国市で行われている神楽であり、石見神楽の流れを汲み現在に至っているものである。
事務局	旧小野田市では全国的にも「かるた」が非常に有名となった時期があり、全日本かるた協会が定めているクィーン2人を輩出した。2人目のクィーンは永世クィーンにもなった。小野田高校は平成28年にかるた部を設立、平成28年・29年ともに全国大会に出場している実績があり、熱心にかるた競技に取り組んでいる。また、市かるた協会が当時のかるたクィーン2人と協力して、市内の子どもたちにかるたを教えるといった普及活動もされて

	<p>いる。市としても「かるたのまち山陽小野田」を復活させたいと考えており関係者とも協議している。平成29年10月には市民体育館で中国地区高校小倉百人一首かるた大会の招致も行った。平成30年度スタートする第二次山陽小野田市総合計画の重点プロジェクトにもかるたの振興が盛り込まれており、文化振興の大きな柱となってくる。</p>
委員	<p>小野田高校の生徒からクィーンが出たということであったが、そのクィーンは竜王中学校の生徒であった。竜王中学校に優れた指導者がいて、その指導を受けた生徒たちが小野田高校に入学してクィーンになったという経緯がある。しかし、高校には指導者がいなくなったため競技者が育たなくなった。第二次山陽小野田市総合計画にもあるのならば、指導者育成にも力を入れて欲しい。経済的な助成も行い、本市にかるたが根付くように配慮する必要がある。</p>
事務局	<p>今後の事業展開はクィーンや小野田高校の先生、市かるた協会と協議しながら、かるた競技の普及・振興に取り組んでいきたいと思っている。</p>
委員	<p>以前、埴生に和泉式部の墓があるため、記念して埴生の青年の家で大会を行ったことがある。かるた協会とも連携して行ったが、会場が使えなくなってしまい場所等の関係から継続できなかった。かるた事業を進めていくのであれば、協力できることがあるので、観光協会にも声をかけていただきたい。埴生の和泉式部伝説を知ってもらうことに結びつけたい。</p>
委員	<p>小野田まつりという市をあげた祭りがあって舞踊などを披露していたが、現在では規模も小さくなり減ってきている。そのようなイベントに団体等で出場して伝統文化が披露できるような機会や場が増えて欲しいと思っている。</p>
事務局	<p>アートの玉手箱というイベントがある。他にもイベントがあり、発表の場を増やしたい。</p>
委員	<p>昨日参加した会議でも、市のメインとなるようなまつりやイベントがなくなってしまっているという声が上がっていた。ガラス展についても、しっかりとPRして盛り上げていきたい。</p>

委員	こうした会議があって、良い意見が出て浸透していない現状がある。ネットワークを活かして、関係団体で協力してイベントが行えれば、もっと良くなると思う。
委員	主催文化事業の実績をみると集客人数が少ない。昨年のいっこく堂ボイスイリュージョンを拝見したが、受けは良かった。伝統芸能や芸能人の技を見るのは、良いことであると思うし、どんどん企画して行ってほしい。
事務局	子どもたちの情操教育という面を考慮して、今回はいっこく堂のボイスイリュージョンを企画した。伝統芸能のイベントも含め子どもたちの情操教育や事業のアンケートを参考にし、文化協会等とも連携して魅力的なイベントを企画していきたい。
委員	ピアノマラソンの参加人数が多いことに驚いている。企業スポンサーなどついたり、ギネス記録に挑戦したり、インターネットにアップしたりといったPRの手法をしっかりとって、マスコミに取り上げてもらうことなども検討して欲しい。関心がある方には気付いてもらえるかもしれないが、関心がない方にも気付いてもらえるような全国的なイベントになってほしい。
委員	中学校・高校の校長連絡会議があり、会議の中でも「かるた」が議題となった。竜王中学校では熱心にかるたに取り組んでおられ、校内でかるた大会を行っている。小野田高校から、またクイーンを輩出したいという話も出ている。ぜひ、指導者の育成・支援にも力を入れて欲しい。また、先月に中学生の市議会を行われたが、その中でもイベントが少なくなったのできみしいという意見が出ていた。理科大の学生にも、イベント等に参加してもらい、協力して事業を進めれば活力あるまちづくりができるのではないかな。
事務局	指導者の育成や理科大との連携に努める。
委員	今のこどもたちは身体表現が苦手だと思う。中学校でもダンスの授業が行われているが、活発な子が少ない。アウトリーチ事業で芸術的な音楽鑑賞をする内容も良いが、ダンスの講師を呼んで身体表現をして自己表現を楽しむことを伝える時間も重要だと思うがやっているだろうか、今後検討していただきたい。

事務局	アウトリーチでは、これまでそのような実績はないが検討する。
委員	ガラス展と同時期にきらら交流館にも過去の受賞作品を展示する予定である。かるたに関しては、畳の部屋もあり、かるたの練習で利用していただいております、協力は惜しまない。竜王山ウォークとあわせてきらら交流館のまつりがあるが、理科大の学生は運営に携わっており、積極的に協力している。指定管理の関係で実現できない課題等もあるので、今後この会議でご相談できればと思っている。
委員	文化会館の利用者の年齢層が高齢化し、チケットも売れ行きが低迷している。限られた予算の中で事業を行うことが難しいため、助成事業・イベントを招致する方法もとる必要がある。かるたに関しては、入門編や競技用等のレベルですみわけをして取り組めば、良いのではないかと。
委員	市長の文化の考えは。
委員長	市長の考え方は第2次山陽小野田市総合計画に盛り込まれており、この中のにぎわい・活力・地域資源活用プロジェクトに、文化・スポーツの振興が掲げられており、文化振興は重点施策である。
事務局	平成30年度には第二次山陽小野田市総合計画が策定されるため、「山陽小野田市文化振興ビジョン」についても見直しが必要である。事務局で案を作成し、平成30年度4月以降に委員の皆様で協議をしていただくという方針でよろしいかと。
委員	異議なし。
事務局	市民館耐震化工事に伴い、当面市民館体育ホールは平成30年度から31年度までの2年間、文化ホールは平成30年度の1年間は閉館となる。4月からは利用ができなくなり、利用者の皆様にはご迷惑をおかけするが、丁寧な対応に努める。 次回の会議は3月26日（月）の18時30分で予定しており、また文書でご案内させていただきます。